

問1 日本列島のほぼ中央に位置し、太平洋に面した静岡県において、富士山周辺の豊かな湧水や河川水などの豊富な水資源を活用して発達した、出荷額が全国1位を誇る工業の種類を選びなさい。(2023年 三重県立入試 類似)

1. 製紙・パルプ工業      2. 金属加工業      3. 繊維工業      4. 精密機械工業

問2 中京工業地帯は地域によって主要な工業が異なります。愛知県豊田市周辺では自動車工業が中心であるのに対し、三重県の四日市市周辺で特に発達し、他産業に原材料を供給する役割を担っている工業の名称を選択してください。(2019年 千葉県公立入試 類似)

1. 石油化学工業      2. 精密機械工業      3. せんい工業      4. 食料品工業

問3 日本の都道府県別の工業出荷額の内訳において、パルプ・紙・紙加工品の割合が約4.9%を占めており、かつ輸送用機械器具の割合が約25.6%と極めて高くなっている都道府県はどこか。(2021年 京都公立入試 類似)

1. 静岡県      2. 北海道      3. 愛媛県      4. 愛知県

問4 日本国内には、ブラジルなどの南米諸国にルーツを持つ人々が多く居住している地域があります。これらの地域で南米出身の外国人人口が増加した制度的な背景として、最も適切な説明を次の中から選びなさい。(2022年 鳥根公立入試 類似)

1. 1990年の入管法改正により、日系人に対し就労制限のない在留資格が認められるようになったから。  
2. 高度経済成長期の深刻な労働力不足を解消するため、政府が南米諸国と二国間の労働者派遣協定を結んだから。  
3. 2000年代以降の経済連携協定(EPA)に基づき、製造業における単純労働者の受け入れが自由化されたから。  
4. 戦後直後の食糧難を解決するため、南米へ移住した人々が農業技術を持って一斉に帰国する政策がとられたから。

問5 日本の気候区分のうち、周囲を高い山々に囲まれた盆地で見られる、年間を通じて降水量が少なく、夏と冬の気温の差が大きい気候を何とといいますか。(2018年 群馬県公立入試 類似)

1. 中央高地の気候      2. 日本海側の気候      3. 太平洋側の気候      4. 瀬戸内の気候

問6 山地から平地へと変わる境界部分に形成される扇状地において、古くから果樹園などの土地利用が盛んに行われてきた理由を、地形の性質から説明したものと最も適切なものはどれですか。(2018年 群馬県公立入試 類似)

1. 堆積した土砂の粒が大きく水はけが良いため、水が地下に浸透しやすいから。  
2. 河口付近に位置しており、標高が低く水を引き込みやすいため水田に適しているから。  
3. 火山灰が積み重なってできた平坦な地形で、養分が豊富に含まれているから。  
4. 海岸沿いに波の作用で運ばれた砂が堆積し、塩分を含んだ土壌が果実を甘くするから

問7 石川県輪島市を中心に生産される「輪島塗」は、他の地域の漆器と比較しても非常に堅牢(丈夫)であることで知られています。その品質を維持し、製品の耐久性を高めるために行われている、この地域独自の技法に関する説明として最も適切なものはどれですか。(2022年 新潟県公立入試 類似)

1. 下地の工程で、地元で採れる地粉(珪藻土)を漆に混ぜて塗り、器を補強している。  
2. 鉄を高温で熱して叩き、不純物を取り除くことで強度を高めている。  
3. 木材を乾燥させずに加工し、漆を染み込ませることでひび割れを防いでいる。  
4. 接着剤を使わずに複雑な木組みを行うことで、衝撃を吸収する構造にしている。

問8 日本の都道府県別のお茶の生産量に関する統計において、国内生産量の約四割(39.6%)を占め、全国一位となっている都道府県はどこですか。(2017年 高知公立入試 類似)

1. 静岡県      2. 鹿児島県      3. 三重県      4. 京都府

問9 日本の標高を示した資料において、北側の富山県側から順に飛騨山脈、木曾山脈、赤石山脈という3つの険しい山脈が並んでいる地域を指す総称と、それらの山脈の多くが位置する県の名称の組み合わせとして適切なものはどれですか。(2019年 大阪公立入試 類似)

1. 日本アルプス — 長野県      2. 中国山地 — 岡山県      3. 奥羽山脈 — 岩手県      4. 越後山脈 — 新潟県

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>製紙・パルプ工業</b>	紙の製造工程では、原料の洗浄やパルプの希釈、冷却などのために大量の清浄な水を必要とします。静岡県は富士山からの豊かな湧水や河川水が得られるという地理的条件に恵まれていたため、古くからこの工業が発達し、日本一の出荷額を維持しています。
問2	<b>答え 1</b> <b>石油化学工業</b>	中京工業地帯は日本最大の出荷額を誇りますが、その内訳は場所ごとに特色があります。内陸部の豊田市を中心とした自動車工業（輸送用機械）と並び、伊勢湾沿いの四日市市では臨海部の立地を活かした石油化学工業が発達しており、重化学工業の重要な拠点となっています。
問3	<b>答え 1</b> <b>静岡県</b>	静岡県は、富士山の湧水を利用したパルプ・紙・紙加工品製造業と、自動車やオートバイなどの輸送用機械器具製造業のどちらも盛んなことが大きな特徴である。選択肢にある北海道や愛媛県も製紙業が盛んな地域として知られるが、輸送用機械の割合がこれほど高いシェアを占めるのは、オートバイ産業の発祥地や自動車工場の拠点を持つ静岡県ならではの特色である。
問4	<b>答え 1</b> <b>1990年の入管法改正により、日系人に対し就労制限のない在留資格が認められるようになったから。</b>	1990年に施行された「出入国管理及び難民認定法（入管法）」の改正が大きな転換点となりました。これにより、日系二世や三世とその家族に対して、日本国内での就労活動に制限がない在留資格が与えられるようになり、自動車産業や電気機器産業が集まる地域を中心に、ブラジルなどからの日系人が急増しました。
問5	<b>答え 1</b> <b>中央高地の気候</b>	周囲を山に囲まれた地形では、海からの湿った空気がさえぎられるため、年間を通して降水量が少なくなります。また、内陸部に位置するため、夏は気温が非常に高くなり、冬は氷点下まで下がるなど、気温の年較差（気温差）が大きくなるのが特徴です。
問6	<b>答え 1</b> <b>堆積した土砂の粒が大きく水はけが良いため、水が地下に浸透しやすいから。</b>	扇状地は山から運ばれた礫（れき）や砂など、粒の大きな土砂が堆積してできています。そのため、水が地表に溜まらず地下へしみ込む「水はけ（排水）」が良いという特徴があります。この性質は、根腐れを防ぐ必要があるブドウやモモなどの果樹栽培に非常に適しています。
問7	<b>答え 1</b> <b>下地の工程で、地元で採れる地粉（珪藻土）を漆に混ぜて塗り、器を補強している。</b>	輪島塗が「堅牢」と言われる最大の理由は、下地作りにあります。輪島特産の地粉（じのこ）と呼ばれる珪藻土を焼いた粉を漆に混ぜて何度も塗り重ねることで、漆器の弱点である縁（ふち）などの摩耗しやすい部分を徹底的に補強しています。これにより、修理をしながら一生使い続けることができるほどの丈夫さが生まれます。他の選択肢は金属加工や木工技術の説明であり、漆器の技法ではありません。
問8	<b>答え 1</b> <b>静岡県</b>	静岡県は、全国の茶の生産シェアの約四割を占める日本一の産地です。二〇一四年の統計データでは、一位の静岡県に次いで二位が鹿児島県（29.4%）、三位が三重県（8.1%）、四位が宮崎県（4.6%）となっており、静岡県が圧倒的なシェアを誇っています。牧之原台地などの広大な土地を利用した栽培が古くから盛んです。
問9	<b>答え 1</b> <b>日本アルプス — 長野県</b>	飛騨山脈（北アルプス）、木曾山脈（中央アルプス）、赤石山脈（南アルプス）の3つを総称して日本アルプスと呼びます。これらは「日本の屋根」とも称され、主に長野県を中心に、岐阜県、山梨県、静岡県などにまたがって位置しています。これらの山脈はプレートの衝突などの地殻変動によって形成された険しい地形です。